



年 組 名前

道新 ワークシート

外国人バス運転手を育成

札幌市独自事業を拡充

札幌市は深刻化する路線バスの運転手不足を受け、外国人運転手の育成支援を拡充する。5月にもベトナム人10人を募集し、現地での日本語学習費と札幌への渡航費を負担する。来日後は市内で路線バスを運行する3社が雇用する見通し。政府は2024年に外国人労働者を中長期的に受け入れる特定技能制度の対象に自動車運送業を追加し、バス業界でも外国人採用が広がっているが、自治体が独自事業で支援するのは全国でも珍しいという。

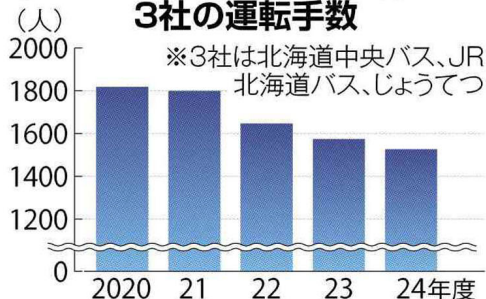
募集を経て選ばれたベトナム人10人は本年度から、現地で日本語と日本の交通ルールを学ぶ。27年11月ごろ来日し、北海道中央バス（小樽）、JR北海道バス（札幌）、じょうてつ（同）のいずれかに入社して大型2種免許を取得。28年度から運転業務を担う予定だ。

3社の24年度のバス運転手の数は1526人で、20年度から約300人減少した。運転手の7割が50、60代で今後の大量退職も想定される。市内では運転手不足による路線バスの減便や廃止が相次ぎ、運行便数は19年の9456便から25年は6600便（速報値）まで減っている。

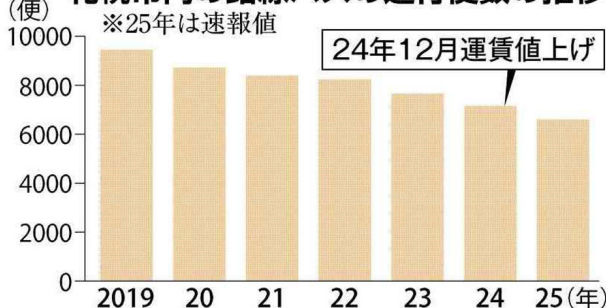
え、市は25年度にバス会社の外国人運転手採用への支援を開始。じょうてつが雇用したミャンマー人留学生の語学費や家賃を補助している。本年度はより多くの人材を確保しようとして現地募集に乗り出すことにした。

市は外国人採用を支援するテトラ・シフト（東京）への委託費600万円を本年度予算に計上。委託費には10人の語学費や渡航費も含む。バス会社は採用1人当たり200万円をテトラ・シフトに支払う。

札幌で主に路線バスを運行する3社の運転手数



札幌市内の路線バスの運行便数の推移



こうした状況を踏ま

(若林彩)



年 組 名前

道新ワークシート

(1) 記事にある2つのグラフを読み取り、その内容として最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア．路線バスを運行する3社の運転手数が増加し、市内路線バスの運行便数が増加している。

イ．路線バスを運行する3社の運転手数が増加し、市内路線バスの運行便数が減少している。

ウ．路線バスを運行する3社の運転手数が減少し、市内路線バスの運行便数が増加している。

エ．路線バスを運行する3社の運転手数が減少し、市内路線バスの運行便数が減少している。

(2) 札幌市内で路線バスを運行する3社の運転手数がグラフのように推移し、今後も更に加速的に変化すると考えられている理由を、記事の本文中から見つけて答えなさい。

(3) なぜ、札幌市やバス会社は「日本人」ではなく「外国人」運転手の育成と採用に力を入れているのでしょうか。自分の考えを書いてみましょう。

(4) 今後、外国人労働者の雇用を進めていく上で、考えられる課題や改善すべき問題を書いてみましょう。